

# 香取市震災復旧・復興基本方針

— ふるさと香取の再生と安心で安全なまちづくりに向けて —

## ■基本方針の策定経緯

東日本大震災は、日本観測史上最大のマグニチュード9.0を記録した大地震の発生により、東日本各地で、大規模津波、液状化、原発事故、電力不足による混乱など未曾有の大災害となっています。

本市でも、過去に経験したことのない大きな被害を受け、特に液状化による被害が顕著となっており、家屋の沈下や傾き、道路の寸断、水道管破損による断水、下水道管の破損や泥の堆積など、市民生活に大きな影響を受けました。

震災から2ヶ月余りが経過し、この間、国、県はもとより、全国からご支援をいただきながら応急復旧を進めてきました。

今後は、本格的な復旧、そして復興という新たな段階に進むにあたり「香取市震災復旧・復興基本方針」を策定するものです。

## ■復旧・復興の基本的な考え方

復旧・復興にあたっては、以下の4つを基本的な考え方として取り組みます。

### ★ 復旧・復興の基本的な考え方 ★

- ◆ 復旧・復興は、概ね3年を目標として取り組み、特に、平成23年度は、復旧・復興の1年として位置づけ全力で取り組みます。
- ◆ 国・県と密接に連携し、市民の皆さんが暮らしやすく、災害に強いまちづくりに取り組みます。
- ◆ 被災された方の心身のケアに十分配慮し、早期に生活を再建できるよう支援に取り組みます。
- ◆ 地域の支え合いや市民協働を基本として、復旧・復興に取り組みます。

## ■復旧・復興のシンボルマーク



このマークを香取市復興のシンボルとして位置付けます。

### 【シンボルマークの趣旨】

佐原、小見川、山田、栗源の皆さんと香取市を支援してくれる全国の応援団の皆さんをイメージした5人が手と手を取り合い、一つになって復興に取り組む姿を表現したものです。

今後、復興関連イベントなどの啓発として使用します。

## ■復旧・復興のスケジュール

年度 時期	23	24	25	26	27	28	29
復旧・復興期	→						
新たな展開期			→				

※ 復旧・復興期 … 主にインフラの復旧、都市基盤の再建を目指す期間

新たな展開期 … 暮らしやすく安心して安全なまちとして新たな香取市を構築する期間

## ■分野別基本方針

### 1 安心・安全なまちづくり

#### ○災害に強いまちづくり

復旧・復興にあたっては、単なる復旧作業にとどまらず、災害に強い工法や設備の導入を図り、災害時においても安心して安全なまちづくりに取り組みます。

#### ○ライフラインの効率的な復旧

道路、河川、上水道、下水道等ライフラインの復旧にあたっては、庁内連携を図り、計画的で効率的な事業実施に取り組みます。

#### ○各種公共施設の復旧

学校、保育所、福祉施設、生涯学習施設など各種公共施設の復旧を行います。  
また、各施設の耐震化に取り組みます。

## ○放射性物質に対する不安解消・安全確保

福島第一原子力発電所事故による放射性物質の影響について、市民の皆さんの不安解消や安全確保を図るため、国・県と連携して取り組みます。

## 2 被災者の救済、家屋被害への対応

### ○被災者を対象とする各種相談体制の充実

心の相談など被災者の不安解消や様々な課題解決のための相談体制を充実し、きめ細かな対応と支援に取り組みます。

### ○液状化等による家屋被害の救済

液状化等による家屋の被害について、実際の被害状況を踏まえて、国・県と連携し、迅速・円滑に救済や生活支援に取り組みます。

## 3 農業施設等の被害への対応

### ○市が事業主体となった農業施設等の復旧

土地改良区が管轄する農業施設等の災害復旧事業については、県や土地改良区と密接に連携し、市が事業主体となり迅速に災害復旧に取り組みます。

### ○放射能汚染に伴う風評被害等への対応

放射能汚染による出荷制限や風評被害に対し、関係団体と連携し、補償等について強く求めていきます。また、香取市産農産物の安全性のPRに強力に取り組みます。

## 4 商工業の振興

### ○直接的・間接的な被害を受けた商工業者への支援

地震、液状化などによる直接的な被害や電力不足、もの不足、消費自粛、また、関連事業者の被災など間接的に被害を受けた商工業者に対し、国・県等と連携し、相談体制の充実や融資などの支援に取り組みます。

### ○消費拡大・商工業振興

各種イベント等と併せ、「自粛から復興へ」を推進し消費拡大に努め、商工業の振興を図ります。

## 5 観光振興

### ○適切な情報発信やPR活動の実施

観光資源の再生や観光情報の発信など、復旧状況に応じた取り組みを進めます。

市の観光の安全・安心を国内外に発信し、観光自粛の早期払拭に努め、交流人口の拡大に取り組みます。

## ○歴史的町並みの復旧・保存

地震により直接被害を受けた国選定の重要伝統的建造物群保存地区は、市のシンボルであり今後も観光振興の核となる地区であることから、国・県と連携し、地域との協働により復旧や保存に取り組みます。

## ■計画策定・今後の取り組み

### ○香取市復旧・復興計画(仮称)の策定

今後の復旧・復興が迅速、かつ着実に実施できるよう、できるだけ早期に香取市復旧・復興計画(仮称)を策定します。

### ○香取市地域防災計画の検証・見直し

今回の震災を教訓として、香取市地域防災計画を検証し、予防対策、応急対策、復旧対策など災害時に適切に対応できるよう見直しを行います。

### ○総合計画 後期基本計画の策定

前期基本計画は、平成 24 年度までの計画であり、25 年度からの計画として後期基本計画を策定する予定です。後期基本計画は、震災からの復旧・復興、新たな展開を踏まえ、香取市復旧・復興計画(仮称)と整合を図りながら策定します。

### ○既存の各種計画・合併特例事業の見直し

既存の各種計画や合併特例事業等について、震災による影響等を適切に把握し、必要に応じ見直しを行います。

## ■香取市被災状況

■建物被害 : 約 3,500 棟

■液状化面積 : 約 3,500ha (東京ドーム 750 個分)

■上水道 : 市内のほぼ全域約 20,000 戸が断水

■市内公共施設 : 約 200 億円

概算被害額 (道路・河川・上水道・下水道・農業関係・観光関係・文教関係など)